



平成 28 年 6 月 28 日

各 位

会 社 名 セブンシーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤堂 裕隆
(コード番号 3750 東証第二部)
問合せ先 取締役経営企画部長 関 裕司
(TEL. 03-5501-4100)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要に関するお知らせ

当社では、取締役会全体が適切に機能しているかを検証し、その結果を踏まえ問題点の改善や強みの強化等の適切な措置を講じていくという継続的なプロセスにより、取締役会全体の機能向上を図ることを目的とし、平成 27 年度からの取締役会の実効性に関する分析・評価を開始いたしました。

この度、平成 27 年度の分析・評価が完了いたしましたので、以下のとおりその概要をお知らせいたします。

1. 平成 27 年度の分析・評価方法

平成 27 年度の分析・評価においては、以下の評価項目を内容とする無記名式のアンケートを全ての取締役及び監査役に配布し、次に、回答の集計結果を踏まえ、そこから認識された課題や取締役会全体の機能向上に向けた今後の取組み等について、取締役会において建設的な議論を行ってまいります。

【無記名アンケートの評価基準】

- (1) 取締役会の開催頻度
- (2) 議案
- (3) 各役員の発言
- (4) 取締役会の実効性に関する分析・評価
- (5) 意見交換
- (6) 決定事項の結果報告
- (7) リスクテイク
- (8) 要改善項目及び課題等

2. 平成 27 年度の分析・評価結果の概要

対象の全役員からアンケートの回答を得て、その集計を行いましたところ、当社取締役会は、取締役会の規模・構成・運営状況等において、全体として概ね適切であるものの、以下の 4 点については、取締役会の実効性を更に向上させるために取り組むべき課題として認識するに至りました。

- (1) 経営方針及び経営課題に関して、これまで以上に深度ある意見交換を行い、審議を充実させるための工夫
- (2) より透明性の高い議事録の記載方法
- (3) リスク管理の最適化
- (4) 取締役会における活発な議論を実現するための環境整備

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記の評価結果を踏まえ、課題の認識、改善策の検討など今後においても取締役会において議論を重ね、透明性の高い、より実効性の高い取締役会の実現に向けて取り組んでまいります。なお、取締役会の実効性に関する評価においては、今後も継続的に実施することを予定しております。

以 上